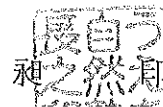


平成30年3月31日

（あて先）熊本市長

団体名 うえき自然塾

代表者 職名 塾長 氏名 野中



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成29年4月1日付け指令（地活）第1－1号により、熊本市市民公益活動支援助成金の交付決定を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要領第20条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名 里山での親子自然体験活動

2 助成事業の実施期間

平成29年4月1日～平成30年3月31日

3 助成事業の内容

近隣の自然豊かな里山を活動の場とし、子どもたちにたくましく生きる力を育てたいという思いでボランティア仲間とともに、季節に応じた様々な自然体験活動を年間通して実施してきた。

活動においては、食べる・作る・遊ぶを毎回意識して活動内容を工夫し、活動を振り返る場も設定し、子どもたちが参加者の前で発表する場も設定してきた。

4 事業の成果

- （1）子どもたちが普段の生活では体験したり味わえないような活動がほとんどで、子どもたちの懸命に頑張る姿や達成感、それを嬉しそうに支援する親の姿が多くみられる。
- （2）保護者同士の子育てに関する情報交換なども多く行われている。
- （3）地域の耕作放棄地も増加傾向にある中で、このように里山で自然保護活動などを行うことで、地域の活性化にも効果がみられる。
- （4）地震を体験したことで、自然の恐ろしさからどのように身を守ればよいかなど、野外体験活動を通して学ぶことも多く、参加者の活動への意欲も増しているようである。

5 助成事業の実施状況

- （1）事業実施決算書（様式第16号）
- （2）事業の経過又は成果を証する書類等
- （3）その他参考となる資料

事業報告書

実施年度	平成２９年度																																				
事業名	里山での親子自然体験活動																																				
事業期間	平成２９年４月１日～平成３０年３月３１日																																				
事業の目的	社会の変化に伴い子どもの生活環境も変化し、子どもの生きる力の育成が求められている。そこで、うえき自然塾では里山の自然に触れながら季節に応じた様々な体験活動を工夫し、それらの体験活動を通して子どもたちにたくましさや豊かな心の育成を目指す活動をする。																																				
具体的な事業内容	自然豊かな里山を活動の場として子どもたちに四季折々の体験活動を１月を除く毎月１回設定し、午前９時から午後２時の時間で、食べること、作ること、遊ぶことを活動の基本として以下のような活動を実施した。 <table><thead><tr><th>(月・日)</th><th>(活動名)</th><th>(参加者数)</th><th>(その他)</th></tr></thead><tbody><tr><td>４月１６日</td><td>タケノコ堀と飯盒</td><td>７５名</td><td></td></tr><tr><td>５月２１日</td><td>マコモ植えとパン</td><td>５６名</td><td></td></tr><tr><td>７月 ２日</td><td>小川で遊ぼう</td><td>１０７名</td><td></td></tr><tr><td>９月２３日</td><td>栗拾いと飯盒炊飯</td><td>８３名</td><td>栗が少なく購入する</td></tr><tr><td>１１月２６日</td><td>ピザづくり</td><td>６７名</td><td>雨模様、テントを</td></tr><tr><td>１２月２３日</td><td>ミニ門松づくり</td><td>５３名</td><td></td></tr><tr><td>２月１８日</td><td>花炭づくり</td><td>４９名</td><td>火加減が難しい</td></tr><tr><td>３月２５日</td><td>杜を創ろう</td><td>４４名</td><td>古竹の処理、新しい橋掛けなど整備作業も</td></tr></tbody></table> ※ 今年度は台風接近で予定していた活動を２回中止。 ※ 各活動の前にはスタッフで準備作業を実施。 ※ 次年度は、うえき自然塾の施設を隣に移転する予定。準備中。 ※ 今後もイノシシ対策が必要。	(月・日)	(活動名)	(参加者数)	(その他)	４月１６日	タケノコ堀と飯盒	７５名		５月２１日	マコモ植えとパン	５６名		７月 ２日	小川で遊ぼう	１０７名		９月２３日	栗拾いと飯盒炊飯	８３名	栗が少なく購入する	１１月２６日	ピザづくり	６７名	雨模様、テントを	１２月２３日	ミニ門松づくり	５３名		２月１８日	花炭づくり	４９名	火加減が難しい	３月２５日	杜を創ろう	４４名	古竹の処理、新しい橋掛けなど整備作業も
(月・日)	(活動名)	(参加者数)	(その他)																																		
４月１６日	タケノコ堀と飯盒	７５名																																			
５月２１日	マコモ植えとパン	５６名																																			
７月 ２日	小川で遊ぼう	１０７名																																			
９月２３日	栗拾いと飯盒炊飯	８３名	栗が少なく購入する																																		
１１月２６日	ピザづくり	６７名	雨模様、テントを																																		
１２月２３日	ミニ門松づくり	５３名																																			
２月１８日	花炭づくり	４９名	火加減が難しい																																		
３月２５日	杜を創ろう	４４名	古竹の処理、新しい橋掛けなど整備作業も																																		
実施場所	うえき自然塾（熊本市北区植木町小畑地区・田原小校区）																																				
事業の効果・公益性	このような里山での自然体験活動を求める家族が増加している。今年度は昨年以上に広範囲の地域からの参加者が目立った。遠くは福岡市からの参加者も。保護者の感想にもこのような体験活動を高く評価する声が聞かれた。																																				
次年度以降の事業展開	隣接する土地にメインの会場を移転する予定。さらに充実するよう施設の配置など工夫したい。 スタッフの高齢化に伴い、本活動をさらに充実させるためにもスタッフ後継者育成が必要。準備作業日や本活動日にも共に用具や機械などの使い方に慣れてもらうなど活動を工夫したい。																																				

事業への想い (当事業によってどのような熊本市にしていきたいか)	自然体験活動は子どもの育成にとって欠かせないものと考えている。ただ、どこでもできるものではなく、適切な場所、人、金が必要です。市内の他地にもこのような活動が広がることを期待するし、他との情報交換もできればと考えます。そのためにもかなめとしてのくまもと・わくわく基金やそれを支えるあいぽーとの存在は重要ではないでしょうか。 お世話になります。
---	--

事業収支決算書

項 目		金 額 (円)	内 訳
収 入	自己資金	51,000	会費(1,000円×51家族)
		91,900	当該事業による収益
		1,071	その他の自己資金
		5,000	寄付金・協賛金
	市民公益活動支援助成金	140,000	当該事業に対する助成希望額
	その他の補助金・助成金	0	
	計	288,971	
支 出	助成対象経費	人件費	0
		報償費	0
		役務費	42,694
		使用料・賃貸料	10,000
		事務費	26,733
		旅費	0
		委託費	27,500
		その他	168,354
		小計	275,281
	助成対象外	飲食費	7,537
		お礼	6,153
		小計	13,690
	計	288,971	